

「学校ってほんとにマスクしていかなくていい所なん？」

って彩葉あやはから聞かれた時とき、涙なみだが出たよ。

彩葉にとったら、

マスクは制服せいふくの一部いちぶだったんだね。

二年生か三年生になったら、

きっとマスクなしで学校に行けるよ。

小林こばやし

実賀みか

(母)

ふつうのがっこうせいかつを

一かいでもしてみたいな。

きゅうしよくを

ひとりでおしゃべりもせず

たべるのがちよつとひまだよ。

マスクにはもうなれたけど、

マスクなしでがっこうにいつてみたいな。

小林 彩葉あやは（小1 金沢市）

小学生のお兄さんになったから教えるね、

綾乙あやとの名前なまえのひみつ！

綾あやって漢字かんじにある糸の字は、

実じつはお母さんの名前にもついてるんだよ。

いつもどんな時ときも

お母さんで見えない糸でつながってるよって、

思おもいをこめました。

名倉なくら  
香織かおり  
(母)

じゃあ、がっこうでべんきよう

ちゃんとしてなかったら、

すぐみつかってしかられるね。

でも、おかあさんといっしょはちよつとうれしい。

あやとつてなまえ、

ずっとすきやったけど、

もっともつとおきにいりになったよ。

名倉 綾乙あやと（小1 宝達志水町）

りずへ

(土・日)<sup>ど にち</sup> おしごとのママは、

なかなかいっしょに

あそんであげられなくてごめんね。

それでもわがママを言わない

りずにかんしゃしています。

今度<sup>こんど</sup>のお休みは、りずといっしょにあそぼう！

ママより

北川<sup>きたがわ</sup>

真弓<sup>まゆみ</sup>

(母)

ママへ

ママとわたしは、

なんでお休みの日がちがうんだろう。

ママといっしょにあそびたいのに

本とうはさみしいよ。

でも、つぎのお休みは、いっしょにあそぶって

やくそくしてくれてすぐくうれしいよ。

りずより

北川  
莉珠りず（小2  
小松市）

雨の日も雪ゆきの日も、

毎日まいにち必ずかなら歩いてある登校とうこうする姿すがた、

とてもすばらしいよ。

本当ほんとうは、車くるまで送おくろうかなと思おもった日ひもあつたけど、

何もなに言いわず歩いている姿すがた、

見えなくなるまで見てみているんだよ。

このことはおかあさんのじまんだよ。

森田もりた 里美さとみ  
(母)

あらしの日も歩いて登校できたのは、

お母さんがおうえんしてくれたおかげだよ。

ぼくが、見えなくなるまで見ているの、

知らなかったよ。

ぼくは、雨にも風かぜにもどんなことにもまけない

強い男つよになるからね。

森田 樹生いっき  
(小3 羽咋市)

感謝状 かんしゃじょう お母さん殿 お母さんどの

どんな時ときでもかわいい弟おとうとを生おとんでくれたこと、

そして、弟おとうとを通して

ぼくを立派りっぱなお兄ちゃんおとうとにしてくれたことを表彰ひょうしょうします。

これからも、ぼくたち三兄妹弟を

よろしく願ねがいします。

本当ほんとうにありがとう。

柘植つげ 雄心ゆうしん  
(小4 小松市)

認定証 にんていしょう お兄ちゃん殿

我が家 わがや における

三妹弟のお世話試験 せわしけん に合格 ごうかく したので

二級 にきゅう として認定 にんてい します。

今後 こんご ともお兄ちゃんとして

頑張り がんば りすぎない姿 すがた を妹弟に見せてあげて下さい。

恥ずかし は がらずにお母 おま さんに甘えれば一級 いっけい です。

柘植 しづけ 裕起子 ゆきこ (母)

早起はやおきは、三文さんもんのとくです。

①おばあちゃんが宿題しゅくだいを見てくれる。

②気持きもちちよく宿題しゅくだいが終おわる。

③ほめてもらえて、おかしがもらえる。

だからこれからも、

がんばって早起はやおきするよ。

おばあちゃん、これからもよろしくね。

三澤みさわ

琴葉ことば

(小4)

珠洲市)

毎朝まいあさ五時じ三十分ぶんになると、

あちこちからけたたましく目覚まし時計めざどけいが鳴り響なひびき、

すぐ二階にかいから「おはよう」と

元気げんきな声こえと笑顔えがおで駆け降りて来る琴葉か。

頑張り屋がんばで、負けず嫌きらいな琴葉ま。

ばあちゃんも、

毎日まいにち元氣げんきをもらっているよ。

三澤  
和歌子わかこ  
(祖母)

「今日の昼ご飯何がいい。」って

ママはいつもきくよね。

その時、私はいつも、

「カップメンでいい。」っていうね。

その時、ママは悲しい顔をするね。

ママに迷惑をかけたくないだけだったけどちがったね。

ママの手料理大好き。

西野にし の  
椎奈しい な  
(小5  
加賀市)

ママの料理がおいしくないのかな。

苦手にがてなピーマン入れるからかな。

と思っおもていたけど

そうじゃなかったんだね。

迷惑いちどだなんて一度も思おもったことないよ。

「おいしかった。また作つくってね。」

が聞きけるようにがんばるね。

西野  
みちる  
(母)

父さん、

いつも家に帰ったら、一度もすわらず、

夜おそくまで家事をしてくれてありがとう。

仕事もいっぱいしてくれて、

どの指もわかれて、ザラザラになっているね。

ぼくもがんばるから、

父さんもがんばってね。

亀田

桔平

(小5)

川北町)

お父さんのことを

こんなによくみているなんて、びっくりしたよ。

桔平には、

いろいろと手をかしてもらって、

本当に助たすかほんとうってるよ。

ありがとう。

これからもお父さん、まだまだがんばるよ。

亀田 孝たかし（父）

とうちゃんが作る料理は

まんでおいしいよ。

とくにあきほは、オムライスが好きです。

あと、とうちゃんが作る

ハタハタのつけが世界一です。

あと、とうちゃんの焼き魚の食べ方も世界一です。

これからもよろしくね。

坂口

明帆

(小5)

能登町)

おいしいと言いって食べてくれることが

とてもうれしいです。

もつと言いってもらえる様ように

腕うでを磨みがきます。

あなたが食くべ終おわった焼やき魚いをたまに食くべますが

まだまだ骨ほねの周まわりのおいしい所ところが残のこっていますよ。

これからもよろしく。

坂口 貴紀たかのり（父）

おじいちゃん

ぼくは、とこやになって

おじいちゃんのお店みせをつぐよ。

ぼくは、おじいちゃんのまごだから、

お店をついで、お店みせを守るよ。

だから大人おとなになるまで待まっててね。

いつかいつしよに仕事しごとしようね。

梅田うめだ

恵太郎けいたろう

(小6

白山市)

恵太朗、ありがとう。

そんなふう<sup>おも</sup>に思<sup>おも</sup>つてくれてじいちゃん<sup>しあわ</sup>幸せや。

じいちゃん<sup>なん</sup>は、恵太朗<sup>とこや</sup>が床屋<sup>なん</sup>でも何でも

自分<sup>じぶん</sup>が本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に好<sup>す</sup>きなことを仕事<sup>しごと</sup>にして<sup>い</sup>ければ、

それ<sup>い</sup>で言<sup>い</sup>うこと<sup>い</sup>となしや。

未<sup>み</sup>来<sup>らい</sup>に向<sup>む</sup>けて頑<sup>がん</sup>張<sup>ば</sup>れ!!

応<sup>おう</sup>援<sup>えん</sup>しとるよ。

室<sup>むろ</sup>井<sup>い</sup>

幸<sup>ゆき</sup>雄<sup>お</sup>

(祖<sup>そ</sup>父<sup>ふ</sup>)

お父さん、

ぼくはおばあちゃんやお母さんたちから

お父さんの子供こどものころと、

細ほそい目、太ふといまゆげ、小さい耳、

固かたくてまっすぐなかみや、なよなよしてる性せい格かくまで

そっくりだと言いわれるけど、それがイヤです。

似にてないぞ！

東ひがし  
陽正はるまさ  
(小6 金沢市)

ハル、

父さんに似ているのがイヤか？

父さんは、この顔かお、この性格で

45年間ねんかん一生懸命いっしょうけんめいに生きてきたんだぞ。

それなりにいい人生じんせいを歩あゆんできたよ。

ハルには似た人生ではなく、

ハル自身じしんの満足まんぞくする人生じんせいを築きずいてほしい！

東 正彰まさあき（父）

さいぎん  
最近、お母さんの身長をこしたよね。

まいにちかがみ まえ  
毎日鏡の前で背比べをして、楽しかったよ。

これから、お母さんの全部を

こしちゃったらどうする？

くやしい？

なんこ  
何個かは下でもいいな。

もうしばらくあまえたいから。

なたみ  
男網  
いつき  
一稀  
(小6  
羽咋市)

全然ぜんぜんくやしくないよ！

身長をこされる日を、

十二年じゅうにねん前から楽しみにしてたんだから。

この調子ちようしで、お母さんの全部をおいこしてね。

下よでいても良いのは年齢ねんれいだけだよ。

全部おいこしたら、

今度こんどはお母さんが一稀あまに甘えるね。

宍網  
裕香ゆうか  
(母)

この間、通りすがりに、

横断歩道を渡り終えた中学生が

信号待ちの運転手さんに

丁寧<sup>ていねい</sup>に頭<sup>あたま</sup>を下げている姿<sup>すがた</sup>を見かけて、

何<sup>なん</sup>て素敵<sup>すてき</sup>な中学生<sup>こころ</sup>って心<sup>あたた</sup>が温<sup>あたた</sup>かくな<sup>な</sup>ったんだ。

その子<sup>かお</sup>が顔<sup>あ</sup>を上げた瞬間<sup>しゆんかん</sup>、あなたとわかり、

成長<sup>せいちよう</sup>を感じ<sup>かん</sup>じたよ。

山元<sup>やまもと</sup>

浩美<sup>ひろみ</sup>

(母)

いつも陰かげで支ささえてくれてありがとう。

顔あを合あわせると悪わる口ぐちしか出てこない。

こんな娘むすめでごめんなさい。

小さい時ときよく歩あるいて散さん歩ぽしたよね。

その時のお母お母さんの姿すがたが今いまの私わたしの姿すがたです。

私あに挨あ拶いを教おえてくれた先生せんせい、

自じ慢まんの母ははです。

山元  
浩花ひろか  
(中1)  
珠洲市

いつも家族皆の相談を聞いてくれて、

家族三人分の負の感情がママにのっかかっているはず。

なのにママは

ずっと明るくて、笑顔で、優しく、

他人の悪口なんて絶対言わない。

私もママみたいになりたい。

強くなりたい。

山下

紗葵

(中2)

金沢市)

ママも中学生の頃は、

人間関係で悩んだよ。

大人になってからも悩みの連続。

一番の相談相手は、ばあちゃんなんだよ。

親子って最強だね。

紗葵が思う程強くないけど、

いつでも相談窓口開けて待っているよ。

山下  
典子のりこ  
(母)

ちよつと酔よっぱらったくらいが

一番いちばんおもしろい父ちゃん。

そんな父ちゃんは少すこし赤い顔かおで、

寿司すしを片手かたてに、僕ぼくにこう教おしえてくれました。

「人生じんせいってワサビやて。」

少すこし反はん応のうに困こまったけど

その言葉ことばには深ふかい意い味みがありそうです。

谷内やち

敦哉あつや

(中3)

珠洲市

人生が進むにつれて、

社会の中で主役になれなかったりすることもあると思いますが、

お寿司のワサビのように

主役の引き立て役は必ず必要です。

敦哉のこれからの長い人生、

どんなポジションでも

必ず光が当たりますよ。

谷内 庄一(父)